

第9回「芥川作曲賞」決まる

菱沼尚子氏の作品 「REFLEX for piano and orchestra」に

「芥川作曲賞」の第9回授賞曲は、8月29日（日）午後3時より東京・サントリーホールでの演奏会による公開選考の結果、菱沼尚子氏の作曲による「REFLEX for piano and orchestra」に決定した。同氏には、賞状とあわせて賞金50万円が贈られた。

芥川作曲賞は、戦後のわが国音楽界の発展に多大の貢献をされた故芥川也寸志氏の功績を記念して、サントリー音楽財団が日本作曲家協議会の支援を得て1990年4月に創設したもの。故人の深い音楽愛、明晰な音楽観と音楽の振興によせられた熱情を追慕して、わが国の新進作曲家のもっとも清新にして将来性に富む作品を対象に、演奏会形式により公開選考をするという、作曲賞としてはわが国で初めてのユニークな試みとなっている。

なお、この日、公開選考会に先だって、第7回受賞者・川島素晴氏の受賞記念サントリー音楽財団委嘱作「Manic-Depressive III」の初演が行われた。

▽第9回芥川作曲賞

菱沼尚子（ひしぬま・なおこ）

<受賞理由>

ピアノとオーケストラの斬新で熟達した書法により、みごとに統一された音楽の世界を切りひらき、新しい大きな可能性を示した。

<略歴>

1970年5月8日東京都生まれ。93年東京芸術大学音楽学部作曲科を首席で卒業、95年同大学院音楽研究科作曲専攻修了。作曲を松本民之助、松本日之春の各氏に師事。91年新波の会日本歌曲コンクール優秀賞。92年毎日童謡賞最優秀賞。92年及び93年名古屋文化振興賞入選。93年<野分>により日本音楽コンクール作曲部門（室内楽作品）入賞。同作品は94年ガウデアムス国際音楽週間に入選、アムステルダムにて再演される。94年オーケストラ作品<SPIRAL>によりクイーン・マリージョゼ国際作曲コンクール優勝。同作品はスイス・ロマン管弦楽団により、ヨーロッパ3都市で演奏されたほか、95年セルビア国際現代音楽祭の招待作品として、ベオグラード交響楽団により再演されている。95年ジュネーヴ音楽院教授リオネル・ログ氏の委嘱によりパイプオルガン作品<Summer Seen Through the Window>を作曲、ジュネーヴ及び東京にて同氏によって初演された。98年<こひうた>により奏楽堂日本歌曲コンクール入賞。同年<REFLEX>により日本音楽コンクール作曲部門（管弦楽作品）入賞。

第9回芥川作曲賞 選考経過

1. 1999年5月10日（月）午後1時より東京紀尾井町、ザ・フォーラムにおいて第一次選考会を開催。1998年4月1日より1999年3月31日の間に国内外で初演された日本人作曲家の管弦楽作品を対象に選考し、芥川作曲賞にふさわしい清新にして豊かな将来性を秘めた以下3作品を「第9回芥川作曲賞」の候補に選定した。選考委員は石井眞木、松村禎三、湯浅譲二の3氏。（50音順）

- 土田英介作曲 <ヴァイオリン協奏曲（1998）>
初演：1998. 6. 13 室蘭市文化センター
白鳥大橋開通記念「札幌交響楽団特別公演」
(北海道新聞社委嘱)
- 久行敏彦作曲 <風の詩～弦楽オーケストラの為の～>
初演：1999. 2. 12 旧東京音楽学校奏楽堂
「フォノスフェール・ミュージカル・コンサート・シリーズ」
- 菱沼尚子作曲 <REFLEX for piano and orchestra>
初演：1998. 10. 13 東京オペラシティコンサートホール：
タケミツメモリアル 「第67回日本音楽コンクール本選会」
(演奏順)

2. 1999年8月29日（日）、午後3時よりサントリーホールにおいて上記3曲を公開演奏（指揮＝小松一彦、管弦楽＝新日本フィルハーモニー交響楽団）。演奏終了後、ステージにおいて3選考委員による公開討議を行った結果、「第9回芥川作曲賞」受賞曲に菱沼尚子氏の作曲による「REFLEX for piano and orchestra」が選定された。

3. 公開選考終了後直ちに同ステージにおいて贈賞式が行われ、芥川作曲賞運営委員会委員長 岩井宏之氏により賞状、賞金（50万円）が授与された。
なお、菱沼尚子氏にはサントリー音楽財団より交響管弦楽曲の新作が委嘱され、同財団主催のコンサートで初演される。（委嘱料100万円）

〔ご参考〕

「芥川作曲賞」について

1. 名 称

「芥川作曲賞」

2. 選考対象

毎年、前年の4月1日から翌3月31日の間に国内外で初演された（放送を含む）新進日本人作曲家による交響管弦楽曲の中からもっとも清新かつ将来性に富む作品1曲を選定します。

3. 選考委員

芥川作曲賞運営委員会（サントリー音楽財団と日本作曲家協議会で構成）が数名の選考委員を委嘱します。（本年は、石井眞木、松村禎三、湯浅譲二の3氏）

4. 賞

- (1) 賞状、賞金50万円。
- (2) 受賞作曲家に新しい交響管弦楽曲を委嘱します。委嘱料100万円。
- (3) 委嘱作品は完成後、サントリー音楽財団の主催する公演で初演します。

5. 選考方法

- (1) 第一次選考会において候補作品数曲を選出します。
- (2) 公開演奏会形式で最終選考会を開きます。選考方法としては、まず候補作品数曲を一括演奏し、終了後その場で選考委員が公開討議を行ない、受賞作1作を選定、贈賞します。

●過去の受賞者

- | | |
|------------|---|
| 第1回（1991年） | 高橋 裕 <Symphonic Karma> |
| 第2回（1992年） | 山田 泉<一つの素描 ピアノとオーケストラによる II> |
| 第3回（1993年） | 菊池幸夫<ピアノと管弦楽のための「曜変」>
猿谷紀郎<Fiber of the Breath（息の綾）> |
| 第4回（1994年） | 江村哲二<ヴァイオリン協奏曲第2番「インテクステリア」> |
| 第5回（1995年） | 伊左治 直<畸形の天女／七夕> |
| 第6回（1996年） | 権代敦彦<DIES IRAE / LACRIMOSA（怒りの日／嘆きの日）> |
| 第7回（1997年） | 川島素晴<Dual Personality> |
| 第8回（1998年） | 伊藤弘之「2台のピアノとオーケストラのための<シーシュポスの神話>」 |

以 上